

先生たちとの出会い

江津通 3回生

学校は今年30周年を迎えるました。私が入学した時、大きな年令差と多種多様な職業を持った同級生との出会いに驚きと少しの安心とで始まりました。級友達との語り、レポートとの格闘など思い起こせば昨日の様に思い出されます。また先生方との思い出もいっぱいです。

一番忘れられないのが体育の先生です。五分前に準備が出来ている事、不真面目にしようものなら名字と名前まで呼ばれる。それも体育館中に響く様な声で、道具をかたづける時も「ダラダラしない！」の一聲、とても厳しく授業に取り組んで下さった先生も普段はニコニコとメガネの下の目はとてもやさしく気さくで冗談も言って話せる女性でした。

私達の頃は、処に来るまでのブランクが長いので数学の公式など覚えてなく本当に大変でした。50分授業中瞬きを忘れるほど黒板と先生の話を聞き入ってました。後で先生に聞いた話ですが「全員が真剣に正面を見つめて勉強してくれる姿に感動しました。」今思い出して身が引き締る様です。三年次の数学の先生は男前でした物静かにわかりやすく教えて下さる姿にうっとりして私は勉強しました。こんなに頑張ったのは後にも先にもこの時ぐらいです。天草宿面に参加した時、夜6時ぐらいまでは空に星は見えてましたが8時すぎの空は曇ってまっ暗でも物理の先生は懐中電燈をかざしながら「あの位置に○○星座があります」と説明されるのです。夜空いっぱいに広がった黒板の授業はとてもロマンティックでした。こんなにすばらしい先生方との出会いと湧心館高校で学べた事に感謝とありがとうございます。これからも増え発展する母校と多くの出会いが生まれることを願っています。

高校生活の思い出

湧心館昼間部 4回生

本校創立30周年おめでとうございます。

定時制昼間部四期生卒業になります。翌年には定時制から全日制に変わりました。早いもので高校を卒業して12年たちました。高校での思い出が懐かしく、そのなかで印象深い思い出を3つ書きたいと思います。まずは修学旅行です。初のスキーを体験しました。さすがに初めてなので急な坂で転び足を痛めてしまい2日間体験できるはずが1日しかできませんでした。でも、楽しかったです。次に生徒会です。生徒会に入り、湧心祭の企画を夜遅くまで仲間と一緒に考えたりしていました。無事やり終えたときは感動しました。最後に、友人と野球同好会を作ったことです。

現在は、野球部がありますがその頃はありませんでした。後に野球部ができて良かったです。そして、卒業の時、担任の先生から同窓会の学年代表になって欲しいと頼まれ引き受けました。卒業して2ヶ月がたった頃自宅に1つの電話が掛かってきました。同窓会長の平川さんです。当時も平川さんが会長をされておりました。電話の内容は同窓会役員会へ、出席のお願いでした。もちろん、出席しました。最初は、学校の先生だけしか知りませんでしたので緊張しました。いろんなお話をさせて頂き、また、様々な行事にも呼んでいただき協力してきました。今後とも一生懸命頑張っていきます。これからも宜しくお願いします。

江津高校草創期の思い出

江津通1回生

創立30周年おめでとうございます。

月日の経つのは早いもので入学したあの日から30年と思うと本当に感無量です。中学卒業以来、いつかは高校資格を取りたいと向学心を持ち続けてきました。江津高校1期生、そして、全国でも初めての定通独立校としての盛大な入学式は今も私の脳裏から消え去ることはありません。会誌への寄稿という事で大切にしている機関紙「図南」の創刊号（昭和54年6月発行）、2号・3号（開校記念式特集）を読み返し30年前に想いを馳せました。15頁余りの図南には、開校当時の校長先生はじめ教職員の方々の思いが綴られ、入学出来的のも関係者のご尽力の賜と深く感謝の気持ちを感じずにはいられませんでした。

スクーリングでは、友の車椅子を級友と助け合いながら階段をかかえ上げたり降ろしたりしました。また、病気と闘いながら学んでいた友もいました。第1回目の運動会では、草取りをしてグランドを作り、家族を交えて競技に出場し、大盛況の内に年も忘れて楽しんだ事など今となっては楽しい思い出です。先生と生徒と一緒に自分達の学校を創り上げていくという気持ちでいっぱいでした。1期生として2期、3期と学校が出来上がっていいくのを嬉しく見守ってきました。創立30周年記念式典、総会、祝賀会には懐かしい友の顔が一人でも多く集えるよう微力ながら尽力させて頂きます。私達の母校、湧心館高校の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

あれからもう…

江津通5回生

25年も過ぎてしまった。江津高校に入学した当時を振り返り、歳月の流れの早さをしみじみと感じている。

40代の若さだった私もまもなく70歳を迎える。高校生として過ごした4年間はこれまで生きた人生のなか1番自分の心と体を燃えさせたものだった。3年生の時は、生活体験発表会で九州代表に選ばれ全国大会へ出場し、東京文部省ホールで発表することができ、3・4年生では、定通生大会テニスの県大会で優勝し全国大会に出場した。このときは、全国から集った選手のなかで私が最年長と開会式で紹介され、思ってもいなかつことに動搖し赤面した思いがある。その、「オジサン」選手も2年続けて3回戦まで進むことができたので「まあいいだろう。」と納得はしている。思い出はつきない。いい仲間とも巡りあった。学年対抗で開催されていた体育祭は入学から卒業まで連続して優勝することもできた。5回生として入学した私たちのときは、学校施設の整備も終り、生徒会活動も順調になっていた頃で充実した通信制高校をエンジョイすることができた。面接日以外の日も学校にはよく出掛け、先生方との会話を楽しみ、卒業後も5年程は昼休みに先生方とテニスなどをやっていた。それだけ当時の私にとって江津高校は心の置き所だったようだ。素晴らしい先生方、いい仲間に逢え、あれ程燃やし続けたエネルギーも歳を重ねるとともに落ち、何事に対してもファイトも感動も減少してしまった。30周年記念行事に職員の皆さんや同窓会役員の人たちは、あわただしく準備している。私も思い出だけを追っているだけでなく頑張らなければ…と、2009年6月、やっと火がついた。

思いの中に時は流れて…

江津通 5回生

2月中旬同窓会からヤマトメール便が届いた。近頃、「母校は創立30周年だなあ」と思いを廻らしていたが記念事業の通知を頂いたので現実的・具体的に実感するに至った。

昭和62年3月8日（日）卒業式の日から丁度この文章を書いている3月8日（日）で22年の歳月が流れた事になる。

思い起こすと校庭に植えた卒業記念樹『銀木犀』は随分大きくなつた事だろう。校門前にあったラーメン屋さんは今も営業しているだろうか、と思いを廻らした。そこのラーメン屋さんではユニークな体験をさせて頂いたなあ。というのは、400円のラーメンを注文して500円札で支払ったら600円（500円玉と100円玉）のおつりを貰つたことがある。無論精算しました。とにかく色々の思い出が脳裏をよぎるなか、母校の創立30周年おめでとうございます。

「無題詩」

「詩」を書こうと思うが
なかなか書けない
思うように頭に
浮かんでこない
年を取るとどこでも
何でも衰えるものだろうか
年を取るということは
大変なことなのだなあ
と考えながら唯今文字を並べている
これが「詩」である

「俳句」

ガヤガヤと遠足の子ら長く行く

「短歌」

桜桃の花散り急ぎ春の足音
聞こえる庭に我は佇む

湧心館で学んで

湧心館昼間部 2回生

中学生の頃まで、学校が、特に先生が大嫌いだった。正直、勉強しかできない人が先生になっていると思っていたし、そんな人に学力だけならまだしも、自分の人間性を評価されてたまるかと嫌でいやでたまらなかった。「先生」と言われる人たちは、みんなしょうもない人ばかりだと思っていた。「なりたくない職業」の中では、第一位であった。

しかし、今、私は八代の中学校と小学校で家庭科の先生をしている。中学生の頃の自分と話しができたとしたら「どうした！なにがあった！」と不思議がられることだろう。

31年生きてきたが、自分の人生一番のターニングポイントは高校時代である。今まで、私の敵だった「先生」が、かなりマイペースな私の性格を個性と認め、生徒が自分たちで何か行動を起こそうとする時「NO！」と言わなくなつた。しかも、それが面倒くさいことでも、手伝ってくれるし、応援してくれる。それも、一部の先生だけでなく湧心館のほとんどの先生が共通して生徒の味方だったと思う。先生嫌いだった私にとって、良い意味で「なんてこつた！」と言う感じ。その「なんてこつた！」の積み重ねが、私を教師という職業に導いたと思っている。

人前で話たり、ましてや人間様に何かを教えるなんて滅相もないと思っていた中学生時代。でも、湧心館の先生が私の心を解かし、私を変えた。高校時代を別のところで過ごしていたら、多分今の私はないと思う。充実した人生をプレゼントしてくれた湧心館高校に感謝です。

通信制で学べた喜び

湧心館通4回生

庭の花々は、私の心を和ませてくれます。

通信制を卒業して早いもので13年の月日が過ぎました。今でも入学式の日の事を鮮明に記憶しております。校門へ入った瞬間、今日から高校生でこの学校に通えるのだと思うと感動で胸が一杯になりました。入学して色々な職業の方々との出会い、中学を卒業したばかりの人達と机をならべ、自分も若返った気分になった事を思いおこしております。10数年振りの学業は、1年目はわからない事ばかりで、2年目になってからは、年間行事がわかってきて楽しく、運動会では年を忘れて頑張りすぎ、翌日には体が痛く、弁論大会では、順番を待っている間、胸がドキドキしうまく話せなかった思い出、クラスマッチでは、皆一丸となり戦った事、宿泊面接では、夜遅くまで友と語らい、俳句では、天賞をいただき、『阿蘇宿面、夫忘れて、高校生』と、1句を投じた楽しい時を過ごした思い出が今、脳裏を走馬灯のように駆け巡っています。2年生から生徒会執行部の一員として参加させて頂き、4年生で会長に推され、活動を通して自分の役目を果たして行く事への心構えや互いに協力し合う事の大切さ、全体をまとめる事の難しさを通信制で学べた事が現在に活かされています。生涯忘れぬ事は諸先生方の優しさ、温かさ、思いやりを頂き、4年間楽しく学校生活を過ごした事に感謝しています。現在は、定年退職し趣味を楽しんでおります。

在学中の思い出

湧心館通5回生

このたびは、本校創立30周年おめでとうございます。

平成4年3月吉日気分一新で、晴れて高等学校通信制の門をくぐりました。夢にまで見た高校生活の第一歩がスタートしました。

年齢の差が親子ほどもある若い学生と共に授業を受けていると、何かこちらも気分が若返ってくるような錯覚にも駆られることが、沢山あったような気がします。日曜日に行われるスクーリングに初めて出席して授業を受けた時、すべての学科を無事終了することが出来るのか、不安でなりませんでした。しかし、日にちが経つにつれ友達とも慣れ親しんで、いろんな面お互いの気持ちを伝えて信頼感が強くなって来たことを思い出します。1年間の行事の中で行われたぶつけ本番の運動会では、クラスみんなでスクラムを組んで大いに盛り上がった事。又、クラス対抗戦ではみんなで思い切り、いいプレーをして友達との友情と絆を深めた事等。そして定時制・通信制総合体育大会では、各学校の仲間と共に汗を流し、全国大会の切符を勝ち取るため、日頃の練習の成果を十分發揮し、素晴らしい成績を収めた事など、今、思い起こせば懐かしく思い出します。今後とも湧心館高校の益々のご発展と関係各位のご検討をお祈りいたします。

私の宝物

江津通10回生

「高校卒業の資格がいる」と知らざられた20年前、中途でやめ九州に来て、何の資格も特になく自分と向き合っていた時に、「やっぱり、高校を続けとればよかった——。しょんなか——」と、あきらめかけていました。

私が、どうしても欲しい資格について調べていたある日「通信教育で、高校卒業の資格を取りませんか」のポスターが目につきました。江津高校の受験要項を見て、ここだ！と思いました。

早速、入学の手続きをして、「高校生になれた！」と希望が叶って大喜びをしたことを、今でも鮮明に覚えています。当時、息子二人は大学生でした。高校4年間は、思いもよらず楽しい日々でした。結果は別として一生懸命勉強したこと、先生方も優しいし、同級生も色々な人がいて、でも何か目的があつて江津高校に入学した人達の中で私も卓球の全国大会、弁論大会で東京にも3回行き、四十路での遅まきの青春を謳歌しました。

やり始めたことを途中で止めると、何事も「まあいいか！」という気持ちが先に立ち、あれも、これも中途半端な人生になっていたなと思っています。

江津高校を卒業して、今、町内会の役員、体操の指導者として人前に立つことが多い日々、「江津高出身だ」という自覚が胸の中にある、臆することなく人前で、話したり笑ったりしています。

もちろん、欲しかった資格は手に入れました。人生の最後まで「高校卒業」という課題を最後まで成し遂げたことで、赤点すれすれの30点を目指して…まだまだ江津高魂でチャレンジ！

湧心館と私

湧心館通14回生

湧心館高校、創立30周年おめでとうございます。この30年間、各世代の方々のさまざまな学校生活の思い出があったのだろうと思います。私も湧心館を卒業して、まもなく5年が経とうとしています。現在私は県外にいますが、同窓会学年代表委員の一人として同窓会活動に参加しています。まだ手伝い程度で経験の浅い私ですが、周りの役員の皆様や学校に携わる方々を見て、改めて湧心館高校・旧江津高校の繋がりを感じます。

また、同窓会を通して本校を訪ねることで、私自身も在学中を思い出し、自分を振り返るきっかけにもなっています。そして、卒業後も、こうして同窓会役員として加わっていることを、学校との縁だと思いつつ、活動しております。在校時のことを少し述べますと、私は、4年間通信制に通い、その内の3年生と4年生の時期を、生徒会活動に参加しました。初めは、「友人が生徒会に入っていたから」というのが生徒会に加わった理由ですが、今では湧心館に通っていた時の半分以上が、生徒会の思い出で出来ていると言っても過言ではありません。生徒会を通して色々な方と関わることが出来、私の中で視野を広げることも出来ました。そして、それは現在の同窓会活動でも同様だと思います。この創立30周年をきっかけに、卒業生の方々と同窓会との繋がりが更にましていくことを願って、私自身もこれから先の同窓会活動に微力ながらお役に立てればと思っております。

最後になりますが、湧心館高校の今後益々の発展をお祈り致します。

通信制に学んで

湧心館通15回生

私が湧心館高校に入学したのは、中学校を卒業してすぐの事でした。中学校時代不登校を経験し、卒業後の進路をどうするか悩んでいた時に、当時の担任の先生や親から本校の事を教えてもらい、そこで通信制の存在を知り、「これだ！」と思いました。通信制なら自分のペースで学習が可能で、毎日登校せずにすむというのは、正直いって不登校だった私にはとても魅力的でした。実際に入学して最初の頃は、学習面での悩みよりも対人関係での悩みの方が問題でした。他人とまともに会話ができず、学校では一人で過ごす事が殆どでした。しかし、それも2年生の時に生徒会に入ってから少しづつですが変わっていきました。生徒会活動に参加する事で人と接する機会が多くなり、自分自身でもわかるほどに以前の私よりも積極的になる事ができました。それから、学校生活も前より楽しめるようになりました。本校を卒業した今、考えると現在の自分があるのは、「本校の通信制で学べたお陰だなあ」とつくづく思います。通信制以外で学ぶ姿が想像できないぐらいに。本当に湧心館高校に通えて良かったと思います。4年間楽しく過ごせたのも、支えて頂いた先生や先輩、後輩、仲間のみんなのお陰です。本当に感謝しています。この場を借りてお礼申し上げます。